

## 三原市佐木島でレモン団地植樹祭開催

【平成30年5月22日掲載】

5月9日に三原市佐木島（三原市鷺浦町）で新たな担い手を呼び込むための第一号のレモン団地が完成し、記念の植樹祭が地元関係者を中心に約50名の出席のもと行われました。

JA広島果実連と、JA三原や地域の住民が中心となった「佐木島果樹産地活性化協議会」が協議を重ね、およそ2年の準備期間を経てこの日をむかえました。

完成した第一号ほ場の面積は約1ヘクタール。この日、約400本のレモンの苗木が関係者の手によって1本1本植えられました。5年後には30トン、売上目標1,000万円を見込み、将来は、ほ場面積を10ヘクタールまで拡大する予定です。

過疎化・高齢化に伴い、佐木島でのかんきつ類の栽培面積は年々減少し、平成12年に104ヘクタールあったものが、平成27年には50ヘクタールに半減しています。この現状に危機感をおぼえた島の住民たちがJA広島果実連などに相談し、いくつかの既存かんきつ園を集めて新規就農者が栽培しやすいようにほ場を広く緩傾斜に再整備して、収穫が安定したのちに新規就農者に引き渡すシステムを構築することを決めました。

広島県を代表するレモンの島として佐木島が広く知られる日が来るよう、地元関係者の期待が寄せられています。



【左から協議会長，JA広島果実連会長，JA三原組合長，植樹後の握手】



【整備後広くなったほ場に植樹】

情報提供元

東部農業技術指導所